

教育目標

ひのこ 世界へ
のびようとも
くろう夢を
こえよう自分を

紙面から

- 1 濱屋教育委員年頭所感・プレゼン大会 ……
- 2 プリティッシュ、ひのっこがんばってます ……
- 3 算数プロジェクト、東京駅伝大会 他 ……
- 4 学校への本の貸出し、わくわく学習術 他 ……



年頭所感
「最上なもの
はなお後に来る」



教育委員 濱屋 浩

昨年、赤毛のアンの翻訳者である村岡花子の半生を描いた「花子とアン」が話題になりました。女学校の卒業式でのブラックバイン校長の言葉が印象に残っています。「今から何十年後に、あなたがたがこの学校生活を思い出して、あの時代が一番幸せだった、楽しかったと心の底から感じるのなら、私はこの学校の教育が失敗だったと言わなければなりません。」人生を切りひらく力を自分自身で身につけて欲しいという強い願いを感じます。

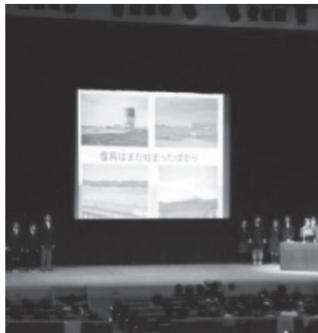
日野市の第二次学校教育基本構想の基本方針の一つは自立・協働・創造に向けた「二十一世紀を切りひらく力」を育むことです。国内外の調査によると、日本の子供たちは、判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べることに、自己肯定感や学習意欲、社会参画の意識等に課題があると指摘されています。他者との学び合いを通して、新しい課題や答えを創りだす力を育てることや、つながりによる教育の推進が課題となる理由で

す。そのための前提として大切なことは、子供たちを包みこむような環境ではないでしょうか。家庭では受容されること。学校・学校では、個人として大切にされているという実感のなかで学ぶことができること。地域では、様々な人との関わりの中で、地域社会の一員としての自覚や価値観を持つることなどです。子供たちは、様々な他者や価値観に触れるなかで、共有する喜びを感じたり、時には悩んだりすることもあつていいでしょう。子供を中心とした包み込む環境への理解とさらなる整備が望まれます。

未来を切りひらく力とは、「何を学ぶか」という問いとともに「どのように学ぶか」という問いと答えの連鎖を考え実践できる力ということもできます。『The best is yet to be(最上なものはなお後に来る)』このブラックバイン校長の言葉の意味をより多くの人々で共有する必要があります。そして、子供たちに、「これが、『切りひらく』ということの一つの例かもしれないね」と伝えられる活動をこれからも心がけたいと思います。



第6回
児童・生徒による
プレゼンテーション大会を開催しました



1月17日(土)、子供たちのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することをねらいとして、第6回児童・生徒によるプレゼンテーション大会を開催しました。ひの煉瓦ホール(日野市民会館大ホール)を会場に、小・中学校合わせて20校の代表の子供たちと、「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」に参加した中学生が発表しました。各校ともICTを効果的に活用するとともに、聞き手を意識した発表方法を工夫するなど、自分たちの取組や学習したことを分かりやすく伝えてくれました。

『被災地に学ぶ生きる力プロジェクト』
宮城県気仙沼市を訪れ、被災地見学や気仙沼中学校との交流をとおして、感じたことや私たちにできることを考えて発表しました。

『The World Peace世界の人々と仲良くなるためには』
外国の文化について調べたことを基に、平和な世界にするために考えたことを発表しました。

『水田学習プロジェクト』
米作りの様子と、その体験活動を基に設定した課題について調べたことをクイズを交えて発表しました。

『日野第二小学校は地域の宝である』
『是か非か』
校名変更を話題に、学校行事や地域の取組、地域の人へのインタビューなど調べたことを発表しました。

『日野第一小学校 クリーンセンター見学』
クリーンセンター見学や日野市のごみの処理の仕方を調べ、分かったことについて発表しました。

『旭が丘小学校 健康について考えよう』
体力向上を目指し、一人一人が考えた実行方法とその結果について、具体的なデータを基に発表しました。

『日野第一中学校 スマートフォンの使用について』
携帯電話の使用と学力の関係について、生徒会が行った調査から分かった課題と解決への今後の取組について具体的に発表しました。

『日野第八小学校 手巾(てぬぐい)』
クラブ活動のよさを生かしてロケットや人工衛星などについて詳しく調べたことを発表しました。

『潤徳小学校 The米』
米の種類、米作りの機械や道具、米の歴史、自分たちで収穫した米の活用方法について発表しました。

『東光寺小学校 東光寺小学校付近の今・昔』
学校の近くにある、よそう森公園や日野宮神社、四谷地域にまつわる話について発表しました。

『日野第五小学校 五小のまわりのおすすめスポット』
学校周辺の公園や図書館、お店について、働く人たちのインタビュー映像を効果的に活用して発表しました。

『日野第三小学校 日野大好きプロジェクト』
総合的な学習の時間に取り組んだ、蚕と梨づくり、地域の自然環境の学習について発表しました。

『平山中学校 職場体験報告』
図書館、薬局、農園、障害者施設などでの職場体験を基に、感じたことや考えたことを発表しました。

『東光寺小学校 健康について考えよう』
体力向上を目指し、一人一人が考えた実行方法とその結果について、具体的なデータを基に発表しました。

『日野第六小学校 郷土の歴史と開発』
多摩平地域の今と昔の様子、豊田駅周辺の移り変わり、日野六小の今と昔などについて発表しました。

『三沢中学校 三沢中学生会の真相に迫る!!』

『旭が丘小学校 健康について考えよう』
体力向上を目指し、一人一人が考えた実行方法とその結果について、具体的なデータを基に発表しました。

『日野第五小学校 五小のまわりのおすすめスポット』
学校周辺の公園や図書館、お店について、働く人たちのインタビュー映像を効果的に活用して発表しました。

『日野第一中学校 スマートフォンの使用について』
携帯電話の使用と学力の関係について、生徒会が行った調査から分かった課題と解決への今後の取組について具体的に発表しました。

グローバル社会へ… グローバル社会の中で活躍する「ひのっ子」 中学生国内留学体験を終えて

12月26日から28日までの2泊3日、福島県岩瀬郡天栄村にある「プリティッシュヒルズ」にて、市内8校の中学校から20名の生徒が参加して、国内留学体験を実施しました。「プリティッシュヒルズ」は、疑似体験型の国際研修センターです。スタッフは、外国人講師をはじめとして、日本人もみな英語で会話をします。参加した生徒たちは、3日間の滞在で英語によるコミュニケーションを行う機会をたくさん得ることができました。

この国内留学体験は、日野市教育委員会と東京日野ロータリークラブとの共催で実施している事業で、今年度で12回目を迎えました。日野市教育委員会の教育目標の一つ「ひらこう世界へ」には、ふるさと日野を愛するとともに、視野を世界へ向けて大きく羽ばたいてほしいという願いが込められています。



様々なことを柔軟に受け止めて吸収できる時期にある中学生にとつて、この国内留学体験は、自分の未来を切りひらく力を身に付けるための有意義な経験となることが期待されています。

異文化体験を通して広い視野で物事を考える機会となるとともに、英語によるコミュニケーションやスピーチを通して豊かな表現力を高めることも目的の一つです。また、日野市の中学生の代表として、自ら考え、行動することで、リーダーシップを育てる機会にもなると考えています。

12月26日、東北新幹線とバスを乗り継ぎ、現地へ向かいました。到着して門をくぐると英国の世界が広がっていました。生徒たちは、まず、英語での入国審査を受けました。緊張しながらも一人ひとりがしっかりと自分自身のことを英語で伝えることができました。その後、Culture & Manners, Cooking, Fun With Languageなどのレッスンを受講したり、英語で食事や買い物をしたりしました。はじめは緊張していた生徒も、外国人講師

の皆さんの温かな励ましにより、間違いを恐れずに英語で話すことに慣れていきました。最終日には、生徒同士で英語による会話を楽しむ姿が見られるようになりました。

この3日間で生徒たちは、英語によるコミュニケーションの楽しさを知り、もっと英語で話せるようになりたい、外国の文化や習慣を実際に確かめたいという思いを強くしたと思います。そして、一緒に参加した仲間や、プリティッシュヒルズの人々との交流は、かけがえのない経験となったはずです。

この中学生国内留学体験の実施に向けて、ご尽力いただきました東京日野ロータリークラブをはじめ、多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



がひのっ子 がんばっています

(学校課)

日野第五小学校

目指せ！未来のエアーマイン！
五小には、日野市ソフトテニス連盟ジュニアソフト教室に通っている子供達がたくさんいます。毎週土曜日の午前中、多摩平の森に隣接する第一公園内のテニスコートで、子供達は練習に励んでいます。

今年の市民体育大会では、六年生の青野玲也君、三年生の真周君の兄弟ペアが見事、優勝を果たし、五年生の原田樹君と堀田陸斗君ペアは三位入賞に輝きました。



児童朝会で紹介した賞状を持って記念撮影

日野第六・旭が丘小学校

チアダンスチーム「SUNNY LOVERS」は、日野第六小学校、旭が丘小学校などの児童が所属し活動しています。週1〜2回、六小体育館や新町交流センターで練習を行っています。

10月26日の関東予選を第1位で通過し、11月30日の第14回全日本チアダンス選手権大会で大健闘！見事初の全国優勝を果たしました！



潤徳小学校

サッカーの神様が微笑んだ日
先日、日野市民大会4年生以下部の決勝トーナメントが行われ、潤徳小学校を母体とする「潤徳ガルーダFC」の4年生が出場。準決勝を辛くも勝ち抜き、決勝戦も子供たちの素晴らしいプレーで見事優勝！市内23チームの頂点に立ちました。子供たちの頑張りをサッカーの神様が見ていたのでしょうか。



平山小学校

主体的に学ぶひらやまっ子
平山小学校では、国の研究で配備された一人一台のタブレット端末を活用し、子供たち一人ひとりが「主体性をもって、答えのない問題に答えを見出していく学び」を展開しています。たとえば、左の写真は、一人ひとりが災害による危険な場所を予測し、どのような経路を通るべきか判断して描いた図をグループで見せ合い、話し合った後にもう一度、自らの考えを修正している学習の様子です。



根拠をもって判断し、説明する児童

滝合・南平小学校

金管バンド交流
滝合小学校と南平小学校には、課外の活動として金管バンド部があります。昨年度からお互いの交流を始めました。今年、6月7日(土)に滝合小で合同練習を、10月18日(土)に南平小学校で合同演奏会を行いました。曲は『士官候補生』です。人数が多くなり音が深みが出ました。演奏を通して心が通じ合い、仲良く活動できています。今後交流を深めてお互いに頑張っていきます。



パートごとの練習

日野第二中学校

卓球部(女子)
第7ブロック日南地区新人大会
女子団体
優勝
女子シングルス
優勝 山本楓佳
準優勝 小西咲奈
3位 工藤彩音、菊地彩花
5位 手巻萌乃、山本ななせ、浦上さくら
ベスト8に7人が入賞し、日頃の練習の成果を発揮することができました。

部活動がんばっています
男子ハンドボール部新人大会準優勝など
11月9日までに行われた都中学校ハンドボール男子新人大会で、七生中は決勝戦まで勝ち上がり、見事に準優勝しました。

平山中学校

「税についての作文」で入選
毎年平山中学校の3年生は、南多摩納税貯蓄組合連合会主催の中学生「税についての作文」に応募しています。今年度「税についての作文」の全応募数は、日野市・多摩市・稲城市の23校から2594編あり、その中から女子2名の作品が見事入選し、山下真依さんが「日野市長賞」(写真上)と久野菜摘さんが「南多摩納税貯蓄組合連合会優秀賞」(写真下)を受賞しました。



◆日野市立教育センター◆
教育センター
「調査・研究の発表会」
にご参加を

教育センターでは、日野市の当面する二つの教育課題について調査・研究を行っています。

1 理科教育推進研究

「ひのっ子」が、主体的に活動する理科教育が展開されるよう学校・教員への理科支援（教員の理科の指導力の向上、理科授業の改善、研修の充実）

2 郷土教育推進研究

第2次学校教育基本構想を具現化するため、ふるさと日野に誇りと愛着をもった「ひのっ子」を育成する研究・実践（豊田地区のフィールドワーク、郷土教材の開発と指導方法、幼稚園・小学校での実践事例、郷土資料館・新選組のふるさと歴史館・中央図書館の活用と連携）

以上 二つの研究実践成果として発表会を開催します。

【日時】 2月19日(木)

午後2時30分～
4時45分

【会場】 教育センター3階
講堂（程久保550）

【問合せ】 教育センター
電話 59210505

算数大好きプロジェクト
 帝京大学 廣田 敬一先生による
「小学生土曜算数教室」



小学校6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。



会場の日野第五小学校に集まった小学生

小学生6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

小学校6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

12月13日(土)には、今年度の最後の算数教室と閉講式を迎え、受講した6年生を代表して5名が感想を発表しました。

土曜算数教室に参加して一番よかったと思うことは、難しい問題の解き方が分かったことです。表にしたり、簡単な場合分けしたり、分かっていることを使ったり、整理してまとめたりして解くことが大切だと学びました。学んだことを生かして、これまでなかなか解くことができなかった算数の問題をやってみたいですよ。

この土曜算数教室は、子供たちが算数の問題をじっくりと考えて解決する喜びを味わい、論理的に考える力を高めてほしいと願い、平成23年度から始まり、今年度で4年目を迎えました。今年度は、市内から120名近くの小学生が参加を希望し、抽選で選ばれた68名が4月から12月までの10回にわたって、簡単には答えが導き出せない問題に挑戦しました。

子供たちが挑戦した問題は、「ひき算手品」「3つのたし算の式」「2山づくり」「長方形の比の秘密」などです。

試行錯誤しながらじっくりと考えたり、友達のを聞いていたりしながら解決方法を発見することで、算数を学ぶ楽しさを体験することができました。

私は土曜算数教室に参加して算数が得意になったと思います。問題が難しかったので、解き終わったときの達成感はとても気持ちがいいものでした。問題を

（日野第五小 平岡愛菜さん）

（日野第五小 平岡愛菜さん）

（日野第五小 平岡愛菜さん）

（日野第五小 平岡愛菜さん）

解いた後には、「どのように考えるのがよかったか」「面白かったこと」「やってみようこと」について感想を書きます。ここで、問題の見直しができ、より興味を湧いてきます。一つの問題について深く考えることで「考える力」が生まれると思います。

（南平小 小川 幸音さん）

ぼくは土曜算数教室で、まわりを見付けるときに役立つ考え方を学びました。それは「順番に考える」ということです。また、おもしろい問題を解くことで算数の楽しさがさらに分かりました。これからは、この考え方を活用してたくさん問題を解きたいです。

（東光寺小 森安 亨さん）

実際に紙を折ったり切ったりして、自分の手で答えを確かめたり求めたりすることができ、達成感と同時に解けたときの嬉しさや「もっと見つけたい」という楽しさを実感することができました。今まで習ってきたことを生活の中で生かすことができる場面があれば、思い返してさらに深めていきたいです。

（仲田小 山口 恰己さん）

特別支援教育

『就学・進学支援シート』の活用を

○就学・進学支援シートは、平成27年度に小学校や中学校に就学・進学する特別な支援が必要なお子さんを対象にしています。対象になるお子さんの発達面、人とかかわり方の特性、園や学校で進めてきた指導内容等について、「就学支援シート」・「進学支援シート」を用いて、小学校や中学校に引き継ぎをするものです。

○引き継いだ小学校や中学校では、支援シートに書かれた内容を基に面接や指導計画の作成等を行い、新年度に向けてお子さんにとってより適切な学校生活の環境を整えるよう配慮いたします。

○支援シートは、保護者と幼稚園・保育園等、小学校が相談を行いながら作成していきます。

第6回中学生「東京駅伝」大会代表選手決定

2月8日(日)第6回中学生「東京駅伝」大会が調布市にある味の素スタジアムにて開催されます。日野市の中学校2年生の代表選手が、男子17区、女子16区を、日野市の襷を受け継いで走ります。

代表選手は、男子48名、女子29名の中から、市民陸上競技場で行われた選考記録会でのタイム順で選考されました。補員も含めて、男子21名、女子21名、総勢42名のチームの誕生です。

11月29日、第1回合同練習を市民陸上競技場で行いました。12月13日には、第2回合同練習の後に、結団式を行い、チーム日野の団結を強めました。

ひのっ子の代表としての誇りと自覚をもって一人ひとりが自分のもてる力を発揮して、力強

く走ります。皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

（学校課）

（学校課）

○支援シートの作成をご希望される保護者は、在籍している幼稚園・保育園等、小学校へご相談ください。

○支援シートに関する相談・問い合わせは「教育支援課」【エール（発達・教育支援センター）内】電話58918877までご連絡ください。

（教育支援課）

お母さん、乳がん・子宮がん検診を受けていますか？

毎日家族のために頑張っているお母さん。いつもありがとう。家族の健康も大切だけど、でもね、お母さん、あなたの健康もとても大切です。

乳がん・子宮がんは、お母さん世代に増えているがんです。決して他人事とは言えません。乳がん・子宮がん検診を受けましょう。

詳細は日野市HPで、「日野市がん検診」で検索。

【問合せ】 健康課

電話 58114111

（健康課）



学校への本の貸出し

一昨年の12月より、「本の森セット」の貸出しを開始しました。これは、要望が多かった読み物をセットにして市内の全小学校に貸し出すものです。

また、「調べ学習用の図書の貸出し」も行っています。

依頼のあったテーマの一部を紹介します。

●小学校からは

修学旅行や移動教室の参考資料の依頼が一番多いのですが、他には「授業で紹介された著者の作品を」「絵を描くのに写真が欲しい(動物や鳥・虫・は虫類など)」「ほたる等の虫のミニ図鑑を作りたい」「川に集まる動植物の本」「川の仕組みを知りたい」「江戸時代のエゴ生活」「現代のリサイクルや節電」「盲導犬や点字についての本」「おはなし会をするので、適当な本

を用意してほしい」その他、米・野菜・昔話・埋め立て地・落語・戦争など、色々なテーマの依頼があります。希望に合う本が貸出し中の場合もありますので、早めに連絡をください。

●中学校からは

「修学旅行の京都奈良」や「職業」の概要の本の依頼がありました。小学校に比べると大分少ないです。先生からでも図書室からでも受け付けますので、もっと利用してください。

市内全校が同じ教科書を使うため、希望の内容と時期が重なることが多々あります。冊数や貸出しの期間を相談させていたただく場合もありますが、先生方にはどうか遠慮なさらずに図書館ホームページの「市内『小・中学校』の先生方へ」内にある書式でFAXしてみてください。

連絡お待ちしております。

(図書館)

公民館講座 「春休み小学生集まれーわくわく学習術」は今年も楽しく企画しよう

3月26日(木)、27日(金)の二日間、中央公民館高幡台分室を会場に、小学校3年生から6年生を対象として「春休み小学生集まれーわくわく学習術」を今年も開催します。

この事業は例年、春・夏休みに公民館で開催しているもので、「普段の学校の授業とはちよつとちがうことを学べる」「おもしろい体験ができる」と、毎回大人気の催しです。

今回のテーマは「ものづくりをあれこれ体験しよう!」です。内容をちよつと紹介すると、最新技術を体験できる「3Dプリンターでつくってみよう」、圧力を利用して、昔懐かしいあられ菓子を作っちゃう「ポン菓

を用心してほしい」その他、米・野菜・昔話・埋め立て地・落語・戦争など、色々なテーマの依頼があります。希望に合う本が貸出し中の場合もありますので、早めに連絡をください。

【問合せ先】中央公民館 高幡台分室
電話59210864

民俗収蔵展示室をリニューアル!

昨年夏、郷土資料館に3つある展示室のうち、むかしの道具をおいてある「民俗収蔵展示室」の工事をしました。新しくなった展示室は、前より広くなつて、明るく、見やすく変わりました。冷暖房もつきました。小学生のみなさんがたくさん見学に来てくれるのを待っています。おじいちゃん・おばあちゃんも一緒にどうぞ。こんな道具を見ることが出来ます。

※家の中にある道具：洗濯板やたらい、火鉢など。今と違ってプラスチック製のものはほとんどありません。テレビや電話機も、みなさんの家に今あるものとは違う形をしているかも。

※田畑での農作業で使う道具：田を耕す鍬やすき、脱穀に使うくるり棒や千歯こき。

※魚をとる道具：多摩川や浅川で魚をとるとき使った網、ドウやモジなどさまざまなしかけ。

※カイクを育て、糸をとる道具：えびら、まぶし、糸車など。

【問合せ】郷土資料館
電話59210981

(郷土資料館)



「新しくなった民俗収蔵展示室」

『第4回日野市ロープジャンプ!小学生大会』が開催されます

「第4回日野市ロープジャンプ!小学生大会」が市内公立小学校参加のもと開催されます。今回は62チーム児童数約1500人による熱戦が繰り広げられます。たくさんのご声援よろしくお願いたします。

【日時】2月28日(土) 9時~13時

【会場】日野市市民の森ふれあいホール

【問合せ先】文化スポーツ課 (文化スポーツ課)



青島広志の音楽の時間ですよー! チケット好評発売中!

音楽史上最高の天才、そして世界中で最も愛される作曲家「モーツァルト」の生涯と彼の名作の数々を芸術家「青島広志」の絶妙なトークと共に贈りする楽しい音楽の時間です。

皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

【日時】2月21日(土) 開場13時 開演13時30分

【場所】ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 大ホール

【出演者】指揮・お話 青島広志、ソプラノ 横山美奈、テノール 小野勉、管弦楽東京室内交響楽団

【入場料】全席指定 大人 3,000円(当日3,500円) 高校生以下 1,500円(当日2,000円)

※宝くじの助成により、特別料金になっています。



(文化スポーツ課)

家庭教育通信 ⑧

正しいしつけは 子どもへの大切な贈り物

「感情にまかせて叱ることとしつけとは違う」

しつけは大切ですが、しつけないことは、という気持ちから、ついたたいしてしまい、その行為に歯止めがきかなくなつてしまう場合もあります。子育てのイライラやストレスが、子どもへの愛情を忘れさせ、叱るといふ行動にすりか

わっているのではないのでしょうか。上手な叱り方のヒントは、「叱られる側」の子どもの立場にもなつて考えること。「そう言われたら子どもはどう感じるだろうか」「子どもはどう受けとめるだろうか」、まづここから考えてみましょう。子どもの心や身体を傷つけるような叱り方は、教育的な効果がないばかりでなく、児童虐待につながる可能性があります。

文部科学省発行「家庭教育手帳」より

(生涯学習課)

第15回多摩川流域郷土芸能フェスティバル 日野囃子保存会が熱演

12月7日、「第15回多摩川流域郷土芸能フェスティバル」が狛江エコーホールで開催されました。今回は日野市から初めて「日野市祭ばやし連合会」が参加。大坪市長も激励とあいさつにかけつけました。同連合会を代表して日頃の稽古の成果を披露したのは「日野囃子保存会」の皆さん。短い時間の中にコミカルなストーリーを凝縮し、会場全体を舞台として巻き込む創意工夫、その質の高さに、会場全体が大きな感動に包まれました。

(生涯学習課)

